美術科年間指導計画【２学年】

月	題材名	時数	学習の目標	学習内容	評価規準			指導上の留意点
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	学びの実感と広がり ★道徳と関連	1	○葛飾北斎や横山大観、片岡球子の多彩な表現の違いを感じ取り、味わう。	○自分の個性を貫くこと、共感し文化を確認することの大切さを理解する。			○作品の特徴や作品の意図、作品から得た印象などを批評し、鑑賞している。	○表現方法やよさや表し方の違いについて興味・関心を持たせる。
5	瞬間の美しさを形に ～抽象表現を楽しむ～	7	○感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の特性を生かして創造的に絵や立体で表す。	○主題を基に形や色彩、創造的な構成を工夫するなどして表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして表現方法を追求しながら抽象的表現で表す。	○形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。	○感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的なくふうなどについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○（共）抽象表現について形や色彩、材料、光の効果などの特徴を元に対象のイメージを捉えさせる。
	自由な視点で風景を見つめる （スケッチ、風景画）	6	○普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果を考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵で表す。	○見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、制作する。	○絵の具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。	○視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に視点の違いによるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫して学習活動に取り組もうとしている。	○透視図法を使った風景画や透明水彩で描かれた風景画を鑑賞し、遠近法の表現に気づかせる。
6	浮世絵はすごい ★社会と関連	1	○浮世絵の良さや特性などに関心を持ち、考えるなどの見方や感じ方を深める。	○浮世絵作品を鑑賞し、気づいたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。	○構図や色彩が感情にもたらす効果や、作品の印象などを全体のイメージを捉えることを理解している。	○浮世絵の表現の良さや美しさを感じ取り、美術文化の継承と創造について考え、見方や感じ方を深めている。	○創造活動の喜びを味わい、浮世絵の表現の良さや美しさを感じ取り、創造的な工夫などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○ジャポニスムにおける日本の美術と西洋の美術の関わりや影響について考えさせる。
7 9	空間を彩る光のデザイン ～美しい空間を演出する明かりのデザイン～ ★理科と関連	8	○光や影の国化を生かしたデザインに関心を持ち、空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出し、光の形や色彩の変化、空間に与える印象などを捉え、見通しをもってデザインし表す。	○自然光や人工的に作り出す光、またそれらによる影の様子などを鑑賞し、その効果や印象などについて感じたことを話し合う。	○材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して、制作の手順などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。	○光が作り出す空間の美しさを基に、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて光の色や影の効果など調和のとれ他洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光や影の効果をもとに構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。	○素材の良さや美しさを生かして生活の中で使用する物を制作し、その良さについて考えさせる。
10	筆と水で多彩に表す ★国語、社会と関連	4	○墨などで表わすことに関心を持ち、表したいものやイメージをもとに主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表わす。	○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。	○水加減による濃淡や、線の勢いが感情にもたらす効果を基に、単色により作り出されるイメージを全体で捉えることを理解している。	○表したいものやイメージをもとに主題を生み出し、濃淡や線などの効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に墨などの特性を基に構想を練ったり、自分の表現方法を追及して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	○基本を大切にし、自由にのびのびとした表現を意識させる。
11 12	つくる・使う・材料を味わう工芸 ★技術家庭科と関連	7	○材料の特性や機能性を生かしてつくることに関心を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。	○身の回りにある手作りによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などについて鑑賞する。	○材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。	○季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。	○創造活動の喜びを味わい主体的に季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などとの調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図について考えるなどして鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○日本の伝統を生かした美術の良さや美しさについて学習し、それらを生かして作品を制作させる。
1 2 3	日本文化との出会い ★社会と関連	1	○ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	○西洋の美術作品に影響を与えた日本美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか考え、意見を述べ合う。	○ジャポニズムの表現の特徴や時代背景について、また日本美術の作風が西洋絵画にどのように影響しているか理解している。		○作品の特徴や作品の意図、作品から得た印象などを批評し、鑑賞している。	○表現方法やよさや表し方の違いについて興味・関心を持たせる。